

半分切り捨て 地域反発

国民の共有財産を分割・民間化し、JRが充足してから31年。「単独で維持困難」と全路線の半分以上を切り捨てる計画を一昨年11月に発表したJR北海道に、沿線住民や自治体首長、地方経済界が反発しています。

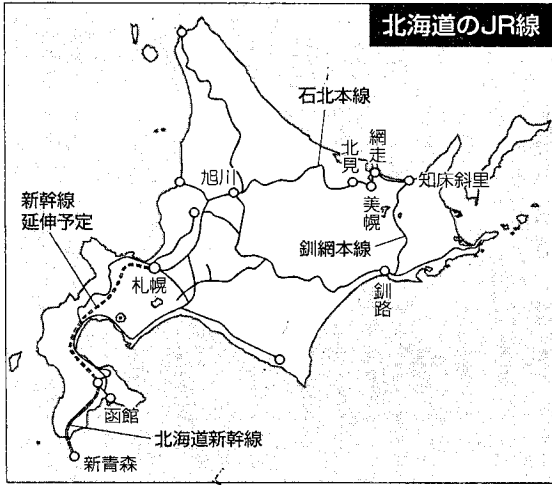
(名越正治)

北海道

市場まかせ、民間まかせの国とJRのやり方でもっとも深刻な悪影響を受けた北海道。日本共産党の岡山和也前衆議院議員は、道民のべら

宝は磨いていく

水谷洋一網走市長は昨年6月のNHKの北海道スペシャル「鉄路縮小の衝撃」に呼ばれ、高橋はるみ知事や吉川



北海道のJR線

貴盛自治民院議員らと討論。NHK側が地図をを広げ、網走と釧路を結ぶ釧網本線の「ここが〇橋本の赤字」などと

「生中継できっちり出してしまいましたが」と水谷市長。釧網本線は釧路湿原を走っていること自体が貴重な財産

です。生活路線を維持し、湿原の宝は、もっと宝として磨いていきたい。知恵やアイデア、議論を熱くしていくのは自治体の役割です」と胸を張ります。

「元をただせば分割の仕方が悪い。どう見ても赤字は免れない」と指摘するのは馬場隆斜里町長です。「移動の手段、鉄道を本当になくしていいのか、私たはいいい続けま

す」と力を込めました。土谷耕治美幌町長は「せいかくつづいた農産物が道内や本州に届かない。生産した者にとつては、しっかり届けたいのです」と農家の思いを代弁します。「鉄道をなくすと

なれば、住民のみならず大きな声になってきますよ。基幹産業は農業だと守っています」

片道1時間半の札幌―網走間。JR北は昨年3月、車内販売を廃止しました。サービ

スを放棄したJRに代わり、沿線自治体が地元産品の車内販売を試験的に始めていま

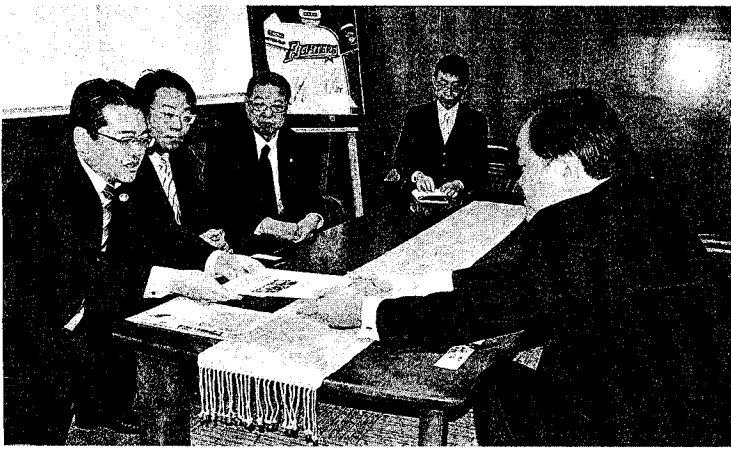
幹線だからだ

北見市の渡部眞一副市長は、石北本線が廃止されると道北、道東地域は深刻な事態に陥る、なんとしても維持すると表明しました。

岡山和也前衆議院議員は、道民のべら

市幹部は「なぜ残さなければならぬのか、それは石北本線が幹線だからです」といいます。物流や観光、通学、通院などを独自に調査して、くらしと地域経済を懸命に支える自治体。一方で、もうからないと判断すれば、鉄道の使命を投げ捨て、撤退をはかろうとするJR北。違

赤字の新幹線を延伸 鉄路は道民共有財産



水谷市長（右）に鉄道提言を手渡す岡山氏―北海道網走市

いは鮮明です。全国一のタマネギの産地で本州に9割以上を出荷している同市。きたみらい農業協同組合の斎藤和雄常務理事は「農協としてJR貨物のコンテナを購入しコンテナはそのまま使ってもらいたい。私たちとしても鉄道輸送の維持に努力しています」と強調します。

トラック代わり

道議会でも3月、東京からJR貨物の役員を参考人として招致。真下紀子日本共産党道議の質問に、貨物の役員は鉄道貨物の役割を指摘しました。トラック運転者不足が深刻な中、二酸化炭素(CO2)排出が少なからぬ環境面にメリットがある鉄道の大量・広域輸送に注目する利用者も多く、広域的物流サービス事業者として貢献したいとのべま

これに先立つ2月、JR北海道の島田修社長を呼び、真下氏が追及しました。JR側は「安全にかかわる金を削って帳じりを合わせた」「老朽化対策を怠った」と認めつつも、自治体や道民に負担を求

めしていく姿勢をあらわにしました。もつて優先のやり方は、命を大きく脅かしています。重さ18tもあるコンクリート片(昨年5月、旭川市)や転落防止柵(同7月、札幌市手稲区)などが鉄道施設や高架橋から落下する事故が1年間で20件も起きました。

研究者・労組 幅広く結集

JR北の身勝手に、研究者や労働組合、市民が幅広く結集し、かががえのない鉄道を

守ろうと、北海道の鉄道の再生と地域の発展をめざす全道連絡会(注)が3月8日、車の根から世論と運動を盛り上げる道民署名にとりくむと発表しました。協力・協賛団体には、連合北海道や北の鉄路存続を求める会、道平和運動フォーラムなどが名を連ねています。



23日には、存続を求める会が札幌駅前署名をよびかけると、ベビーカーを押した女性(34)や隣線問題をテレビで見ている高齢者(88)が次々に署名。「鉄路は道民の共有財産です」「金もうけだけを考えて、はがすのは許せない」との声が相次ぎました。

JR 路線廃止